



全国スキー協通信

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 2-39-2 大住ビル 402 TEL 03-3971-4145

URL <http://www.mmjp.or.jp/wsaj> e-mail wsaj@post.email.ne.jp

2017 年 12月1日 No.450 発行責任者 小川洋 編集 芦村憲一

【郵便振込み】口座番号：00180-7-82138 加入者名：全国勤労者スキー協議会

第30期第3回全国理事会開催

50周年ウィーク等々で論議

第30期第3回全国理事会は11月11～12日の日程で東京で開催されました。参加者は全国理事22人中19人、会長・副会長・部長を含めた全国役員17人中15人が参加。2日間を通して新潟県と神奈川県の記事の参加がなかった事と、群馬県の記事が途中退任された事とはとても残念でした。

今回の理事会の目的は6月に開催された代表者会議での方針の具体化と50周年のプレシーズンとして、各都道府県ならびに各ブロックの取り組みをどう成功させるかを意思統一することでした。

50周年の関係では記念ウェアのサン

プルが出来上がり、赤、青、黒、グレー、黄の5色の中から青、黄、黒の3色を選定しました。記念スキー板はオガサカとブルーモリスの板をそれぞれ販売する事が決定しました。

1日目の議事後に第3回50周年記念実行委員会を開催し、50周年ウィークの大まかな日程や内容などを論議し、ウィークの日程は専門部との調整後に確定をする事としました。またウィーク当日の実働部隊としては関東、関越、北信を中心にしてイベント内容等の担当を決めて進める事としました。

また、来年夏の「2018サマーセミナー」は50周年ウィークの会場となるキューピットバレイで開催することで、日程の調整を行う事としました。

「現役選手を応援しよう」という事でスポーツ庁に対して「国際大会への選手派遣の拡大についての請願署名」の提案は一部修正をして取り組む事を決定しました。

競技、山スキー、スノーボードの各専門部から今シーズン日程が報告されました。競技部では昨年会場が決まらずに中止にしたスキー協カップを、キューピットバレイで開催する事が報告されました。スノーボード部は昨年4回あった行事を3回にして集中した取り組みで盛り上げて行くことと、新しく製作したリーフレットの活用が呼びかけられました。

都道府県の今シーズンでの取り組みの特徴では、「スキー祭典」や「フェスティバル」を都道府県やブロック単位で成功させる事で会員拡大に繋げていくことが中心となっています。ターゲットを中高年とその孫に絞るなど、平日の行事開催やそのための施策が様々検討されています。

クラブ間の交流や合同行事を開催する事でマンネリを打破しようとする工夫や、シーズンオフでの行事の充実などで提案されている組織現勢10%増を目標にした組織拡大で意見交換をしました。

特徴的な発言では北海道で女性上級指導員が誕生し技術部を確立、組織的な対応で会員のレベルアップ要求に応える運動を開始。東海ブロックでは「拠点になるスキー場」を設定しスキー場の協力も借りて常設のポール教室を開催する。そのスキー場に集まってくる会員を集めて新たなクラブを立ち上げる。

(2面につづく)



(1面からのつづき)

定年退職した仲間を集めてクラブを立ち上げる。新入クラブ員をお客様扱いせずに担当をもたせる事が大切。全国大会に「エリートクラス（無差別級）」を設けて先に滑られてはどうか？ ビンディングや用具・安全対策の学習会を開催してほしい等々の要望も出されました。

また、最近スキー場の外国人とトラブルで、当て逃げされるケースが起きている。「パスポート」の提示を求める。パトロールや警察をすぐ呼ぶなどの対応をしっかりと行う必要があるとの発言もありました。

50周年のプレシーズンとして一つひとつの行事をしっかりと成功させて、特に会員、スキーマイトの組織拡大で確実に前進を勝ち取りましょう。(理事長 小川洋)



シーズン迎え、しっかり準備していますか

いよいよスノースポーツシーズンを迎えるにあたり、全国スキー協は11月11～12日に全国理事会を開催して、会員やスキーマイトの拡大で組織的前進を図りながら、50周年記念事業を展開していくことを論議しました。

さて都道府県スキー協と、そこに結集しているクラブは今度のシーズンを迎えるための十分な準備ができているでしょうか。準備ができているかどうかが前進のカギです。

◇会員、スキーマイト拡大目標を持ち、必ず組織的前進を

50周年を迎えるに当り全国的な停滞を打破して組織的前進をめざすには、各スキー協でもクラブでも今シーズンは前進するぞという目標を掲げていますか。その準備が十分に出来ているかどうかが不可欠です。もう一度点検しましょう。

①スキー・スノーボードの行事計画を作り、広く宣伝すること、必ず新しい仲間を誘って行事を成功させる。②スキー協やクラブで入会申込書を作り、新しい仲間に入会を呼びかける。③スキーマイト拡大では新規読者は1年間購読が半額をアピールして1クラブ1部以上増やす（純増）。

以上のことを留意しながら気軽に声をかけていきましょう。

◇指導員養成・研修は計画的に行う

毎年のことですが、この課題では受験者本人まかせにしないことです。指導員養成では受験者に、ペーパーテキスト、レポート、検定等については全面的に親身になって励ますことが大事です。研修では各スキー協が各指導員の研修状況を把握して、計画的に行いましょう。(全国スキー協事務局)

大阪スキー協 50周年レセプション開催

大阪スキー協は「創立50周年記念レセプション」を10月29日に開催しました。開催案内では「大阪スキー協は1968年結成され、来年には発足して50年の節目を迎えることになりました。」とあります。ということは1年前にレセプション開催ということです。赤木徹郎事務局長から送って頂いた年表を見ると、当時、新体連大阪スキー部と並立して発足したことがうかがえます。このことは全国スキー協結成時の1年前に大阪スキー協を結成し、1969年に全国スキー協結成に参画したことになります。

このレセプションには小川全国理事長が駆け付け祝辞を述べました。50周年おめでとうございます。関西ブロックの中核として、さらなる発展を期待します。(編集部)

2017会員アンケート分析（４）

全国スキー協 組織部

会員アンケート分析は今回が最終回で、全国スキー協への要望についてです。

問 7 の「全国スキー協に取り組んでほしい内容を教えて下さい（最大 3 つまで）」という設問の結果では、第 1 位が「中高年を対象にしたスキー指導法の研究」（32%）、第 2 位が「平日スキー行事の開催」（15%）、第 3 位が「子どもを対象にしたスキー指導法の研究」（12%）となっています。

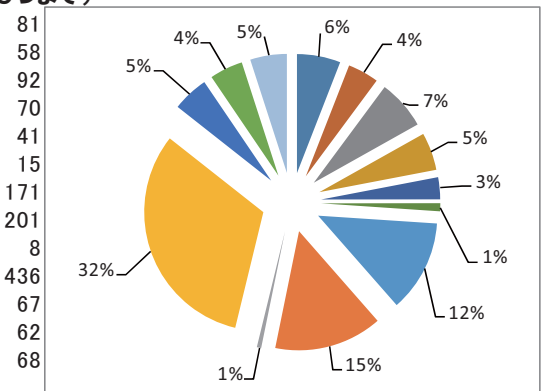
また、問 10 「全国スキー協に対する要望があれば、どんなことでも」では、●中高年のスキーヤーのために役に立つ組織になってほしい●競技スキーやスキー技術が先行していて、幅広い子どもから高齢者のスキーに対応していない様に思える、楽しいクラブ活動が幅広い層に対応したスキー協に●競技スキー、スキー技術がメインの様に思う。スキーの楽しさを仲間等と共有したい。その取組もしてほしい●高齢者が多くなって安全に疲れの少ない滑りを研究してほしい●全国の会員に呼びかけて交流を図るスキー行事を、各地を巡回する形で数年に 1 度の開催で実施してほしい●競技大会だけでなく誰でも参加でき上達できる様な行事をのぞみます●会員外も対象にした全国的なスキー（ゲレンデ）行事の開催●基礎スキーレベルの向上のための講習会を沢山開催してほしい●土・日曜日以外に行事を作してほしい●都道府県スキー協の終結の場として、150人ぐらい集まり、競技入門コースなど、安価で参加しやすい行事の開催●親だけでなく家族で参加できる行事やレッスンがあると良い●ファミリーに対する企画●交流を主体とした行事（宿泊を伴う会員交流）●中高年は生涯スキーとして楽しく、怪我のないことを望んでいるので、スキー技術に力を入れる指導法ではなく体力がなくても安全に楽しく滑る。難しい理論でなく、分かりやすい言葉とカリキュラムを●子どもスキーを教える指導員は大人の目線が多く指導法にこだわっている。子どもに指導する場合、子どもの目線で指導するかが大切。（楽しかった、またスキーがしたいと）子どもから声が出る指導と指導法を考える●シニアのための教室を開いてほしい。という意見が寄せられています。

私は現スキー教程が理論的に中高年やジュニアに対応していないとは考えていません。教程の内容というよりは指導員の「教え方」や中高年やジュニアに対して指導する場合の「配慮」の問題が多いのではと考えています。これについては、教程とは別に改訂される「リーダーテキスト」に掘り起こして掲載をしていきたいと考えています。また、全国的な交流行事の開催を望む声が多くありました。何とか実現できればと考えますが、各スキー協から具体案があればうれしいです。

まずは 50 周年ウィークでお会いしましょう。（終）（文責・小川洋）

7)全国スキー協に力を入れて取り組んでほしい内容を教えて下さい(最大3つまで)

サマーセミナーなどの学習交流企画の充実
中央研修会の内容充実
山スキー行事の内容充実
競技スキー行事の内容充実
デモ選・技術検定の内容充実
スノーボード行事の内容充実
子どもを対象にしたスキー指導法の研究
平日スキー行事の開催
プロスキー選手の育成・資金援助
中高年を対象にしたスキー指導法の研究
常設スキー学校の開校
平和問題・環境問題・社会問題
その他



「全国スキー協推奨のヘルメット」

レーシング

uvex

モデル名: race + (new FIS ルール対応)

メーカー希望小売価格 32,000円+税

サイズ: 53-54cm※U1・U2・U3・U4

55-56cm※U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8

56-57cm※U1・U2・U3・U4・U5・U6・U7・U8

58-59cm※U1・U2・U3・U5・U6・U7・U8

59-60cm※U1・U2・U3・U5・U6

60-61cm※U5・U6 ※サイズによってカラーが限定されます。



テクニカル(基礎スキー)・フリーライドスキー

GIRO

モデル名: NINE MIPS

メーカー希望小売価格 22,000円+税

サイズ: S: 52~55.5cm

M: 55.5~59cm

L: 59~62.5cm

※Sサイズはカラーが限定されます。

G1・G2・G3のみ



スノーボード・フリースタイルスキー

SMITH

モデル名: MAZE

メーカー希望小売価格 19,500円+税

サイズ: S: 55~59cm

M: 59~63cm

L: 63~67cm

※Sサイズはカラーが限定されます。

S1・S5のみ



☆スキー協幹旋価格は、申込時に事業部に問い合わせ下さい。

※注文の商品はクレブスポーツ六日町及びメーカー在庫を確認後、入金がされ次第、クレブスポーツ六日町から発送いたします。

※上記以外のヘルメットも幹旋しますので、モデル名、サイズをお知らせ下さい。

申込先 全国勤労者スキー協議会・事業部 電話03-3971-4145 FAX03-3986-5403

郵便振替番号 00180-7-82138 口座名・全国勤労者スキー協議会(必ず通信欄に「ヘルメット代金」と記入してください。)

第一希望		サイズ	
第二希望		サイズ	
第三希望		サイズ	

記入例

第一希望	U1	サイズ	L
第二希望	G1	サイズ	L

氏名	様	
住所	〒	
電話番号	—	—
FAX	—	—
携帯番号	—	—